

昭和20年春
愛知県中島郡祖父江町

ゴホッ
ゴホッ
くふっ

15歳の私は
胸を病んでいた
後藤英男（谷元先生）

いつそ爆弾を積んだ
ボートで敵艦に突っ込む
特攻兵に志願しようか

英男
苦しいか

兄さん
お前の体は
きつと治る

このご浄霊で

ご浄霊——？

KOKUGEN

こくげんせんせいものがたり
谷元先生物語

エピソード ゼロ うぶごころ
— Episode.0 初心の章 —

後藤

すごいんだよ
母さん

みひかり様ってお守りを
首にかけて手をかざすと
ご浄霊ができるんだ

僕の体もご浄霊で
すっかり良くなったし
他人の病気だって
治るんだよ

三日後、その話を聞きつけた
みつちゃんの家
に13名が待つていた
ご浄霊で痛みが癒え
泣いて喜ぶ人もいた

僕も入信して
やってみたいなあ
ご浄霊

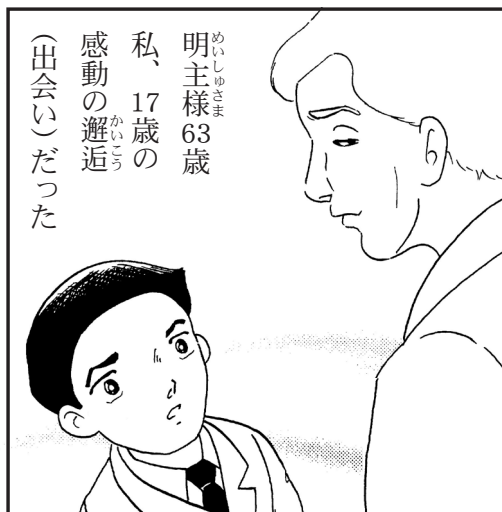
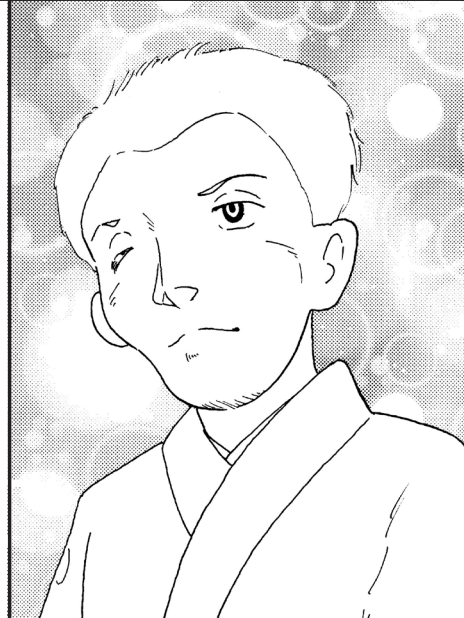
明主様の教団に入信した私が
初めてご浄霊をしたのは
友人の妹・みつちゃんだった
みつちゃんは肺炎だったが
熱がひく奇蹟を頂いた

ドキ



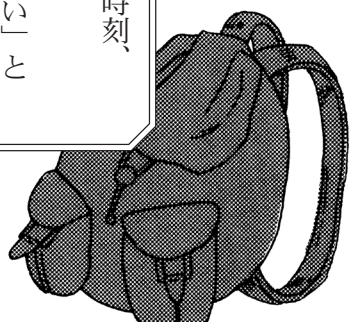
やがて私は旧制中学の
教科書を燃やして
卒業一週間前に中退、
布教の道を歩み始めた

昭和21年8月5日
箱根神山荘にて
「御面会」



明主様 63歳
私、17歳の
感動の邂逅
(出会い)だった

この御面会と同時刻、
父の知人から
「来てもらっていい」と
話があった。私は即刻
伊勢の国(三重県)への
布教を決意した

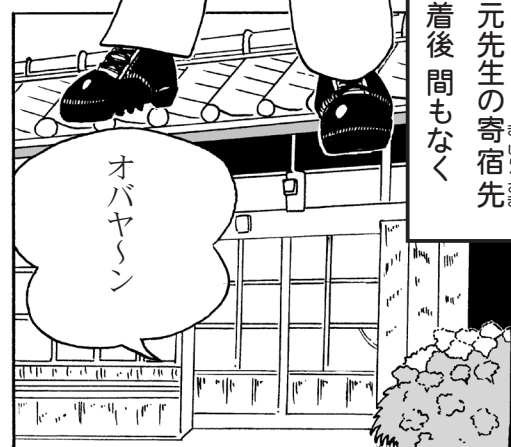


その二日後 8月7日
三重県河芸郡白塚町



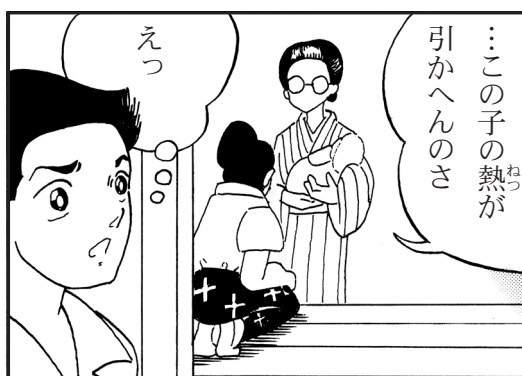
白塚駅

谷元先生の寄宿先
到着後間もなく



オバヤン

…この子の熱が
引かへんのさ



私がご浄霊をすると
赤ちゃんの熱が引き
元気になった



しかし、布教は決して
このように順調な日
ばかりではなかった

時には何日も
誰からも相手にされず
御神体の前でひたすら
祈り続けた日もあった

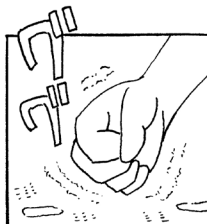
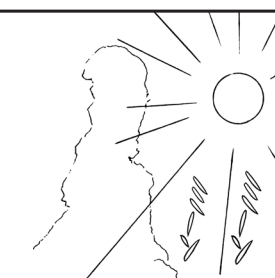
必ず誰かをお使いに
なられるでしょう
私には誠しか
ございませんが
どうぞ私の誠を
お使い下さい

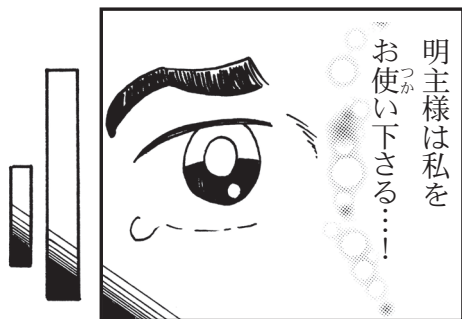
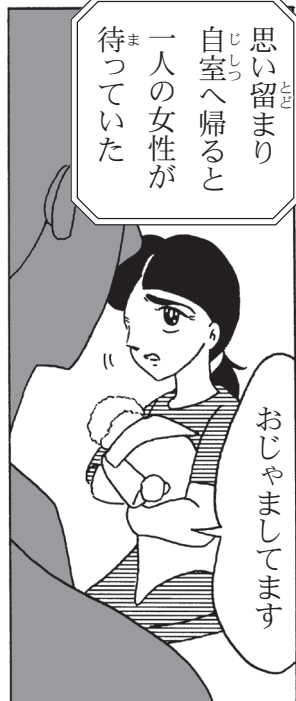
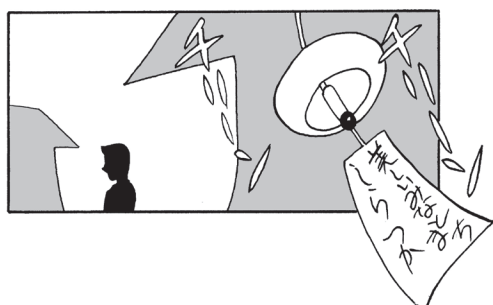
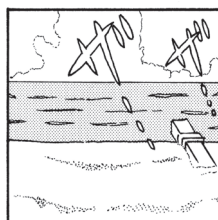
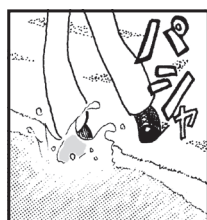
どうか……!



光明

明主様が
地上天国を
お創りに
なるには





昭和45年3月3日
早朝



この時の衝撃を谷元先生は後に
「百雷を一遍に受けたようだった」と
語られています

この「五六七大神・明主様」の
御神霊御復活を享け
神氣汪溢、力がみなぎり
谷元先生は独立を決意され、
救世神教の立教へと
運ばれていきました

そしてこれこそが
明主様本道を歩むための教団
「ミロクコミュニティ救世神教」の
はじまりでした